

第393回 東京大学図書行政商議会議事要旨

日 時 平成21年11月18日(水) 10:30~12:00

場 所 総合図書館3階 大会議室

出席者 <委員長>古田元夫 <副委員長>根本 彰 <委員>久保文明、菊池かな子(代)、高田毅士、斉藤 明、本間正義、持田信樹、鍛冶哲郎、村田茂穂、時弘哲治、青木不学、石塚 満、三宅健介、岩崎貴哉、大木 康、加瀬和俊、畑中研一、榎原雅治、川崎雅裕、金道浩一、安田一郎

※(代)は代理出席者

<オブザーバー>河野重行、中川裕志(代)、堀 浩一、山口英男

欠席者 大越慎一、西垣 通、渡邊嘉典、玉井克哉

列席者 星野雅英、木村 優、尾城孝一、鈴木秀樹、市村櫻子、高橋 努、福井明美、山本和雄、合田美恵子、風巻利夫、高嶋秀介、本多 玄、吉田左貴子、高杉泰穂、前田哲男、田谷和子、石川一樹、飯塚亜子、細谷孝子

- 配付資料
1. 第392回図書行政商議会議事要旨
 2. 全学共通経費による基盤的学術雑誌の整備
 3. 東京大学総合図書館大規模改修案
 4. 附属図書館サービス特別委員会(報告)
 5. 駒場図書館運営委員会議事次第
 6. 平成21年度附属図書館特別展示「日本の天文学のあゆみ：世界天文年2009年によせて 展示資料目録」

<開 会>

- ・古田委員長の主宰のもとに開会した。
- ・古田委員長から代理出席者の紹介があった。

<議 事>

1. 前回議事要旨の確定

古田委員長から、第392回議事要旨を資料1のとおり確定し、ホームページで公開した旨報告があった。

2. 協議事項

(1) 全学共通経費による基盤的学術雑誌等の整備について

尾城課長から資料2にもとづき、電子ジャーナルのパッケージ契約及び利用状況の概要について説明があった。委員から、パッケージ契約の仕組み、大学が共同して交渉・契約することの有無や、研究者自身が大学等のサイトに登録・公開し自由にダウンロードすることができる動きもある等の質問、意見があった。

質疑応答の後、古田委員長から追加配付資料により、基本的な立場としては、18年7月28日の図書行政商議会の基本方針を継承しつつ、今後は、選択肢の一つとしてパッケージ契約を止めるこ

とを含めて、全学共通経費による基盤的学術雑誌の整備の方向性を検討したいとの提案があり承認された。また、パッケージ契約の問題について、各部局で議論するための具体的な資料を提供し、それぞれご検討いただき、次の商議会で協議したいとの発言があった。

3. 報告事項

(1) 平成23年度概算要求について（総合図書館大規模改修）

木村総務課長から資料3にもとづき報告があった。委員から、書庫内に入れるか、貴重図書も自動化書庫に納めるのかとの質問があり、古田委員長から図書の種類に応じて適切な所蔵の仕方を工夫したいとの発言があった。

(2) 附属図書館サービス特別委員会

尾城情報管理課長から資料4にもとづき報告があった。委員から、購読契約をしていない雑誌に関しては、大学図書館間でPDFを送付・印刷して各教員に提供する仕組みがあるが、教員が直接PDFを入手・利用することが可能かとの質問があり、図書館が複写印刷物を利用者に渡すということで出版社からの許諾を得ているとの回答があった。それを受けて、畑中サービス特別委員会委員長から、雑誌購読を止めても図書館間の相互協力により文献の複写物が入手可能であることを前提に今後の議論をして欲しいと発言があった。古田委員長から、文献についてどのようなアクセスや入手が可能なのかについて整理して、議論しやすい形で提供したいとの発言があった。

(3) 駒場図書館運営委員会

市村教養学部等図書課長から、資料4にもとづき報告があった。

(4) 平成21年度附属図書館特別展示

鈴木情報サービス課長から資料6の説明と、展示開始から16日までの見学者数は700名、記念講演会参加者数は75名との報告があった。

(5) イエール大学との相互訪問協力について

鈴木情報サービス課長から、東京大学附属図書館とイエール大学図書館相互訪問の協力に関する覚書の交換が完了したとの報告があった。

(6) 総合図書館棟門灯復元について

木村総務課長から、門灯復元までの経緯と点灯式を12月22日に予定している旨の報告があった。

(7) 図書・雑誌及び図書館利用調査アンケート（仮題）について

木村総務課長から、本学の教員、大学院生の方々を対象として、図書雑誌、図書館の利用の実態についての調査アンケートを計画しており、実施にあたっては各図書館・室の協力をお願いする旨の依頼があった。

〈閉 会〉